



(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

## 「花と緑で地域を元気に」

**第2回 六甲アイランドCITYローズガーデン** 神戸国際大学 都市環境・観光学科教授  
ランドスケープアーキテクト 白砂 伸夫

今回から3回にわたり、“六甲アイランドCITYローズガーデン”についてお話しします。六甲アイランドは神戸市の沖に位置する人工島です。まちの中心部には、リバーモールと呼ばれる長さ600mに及ぶ水路と木々の緑が織りなす憩いと安らぎの快適な空間が南北を貫いています。

老朽化し漏水していたリバーモールの一部を撤去するという神戸市からの計画に対し、地域住民から反対運動が起こりました。ちょうどその時、私が教鞭をとる神戸国際大学で「六甲アイランドガーデン化構想」を提案したところであり、住民の方から意見を求められました。

私の提案は、水路が無くなったとしても、水路よりもっと人々に親しまれる素敵な空間を住民で計画してはどうか、というものでした。住民の方と議論し住民投票を実施した結果、水路をローズガーデンとして再生するというアイデアがまとまりました。しかし、バラ園は維持管理費がかかるので、まかりならんという難問が再び市から提起されました。そこで住民有志が立ち上がり議論を重ねた結果、住民が中心になってローズガーデンを維持管理するというプロジェクトが

始まりました。

市は土の搬入やパーゴラの設置と植物材料を提供し、住民の有志は“ローズガーデンファミリー”という組織を立ち上げ維持管理を担当しました。私はローズガーデンのデザインを提供し、神戸国際大学の白砂ゼミの学生がバラ祭を担当するという、住民、大学、市というスキームができました。バラ祭は5月に開催されています。これは関係者だけでバラを楽しむのではなく、バラが咲けば住民みなさんで楽しむ、まちのお祭にしたいという私の希望を聞き入れていただき実現しました。ローズガーデンをつくるといっても、バラを栽培するのは初めてという方ばかりです。こうして、全くの素人がまちの中に、それも無農薬でローズガーデンをつくるという無謀とも見える計画がスタートしました。



水が無くなったリバーモールの水路



埋め立てられた水路



完成したローズガーデンの1場面

## 花緑いっぱい運動推進員研修会の報告

兵庫県下の各地域（県民局・県民センター毎）で年1回、花緑いっぱい運動推進員の技術・知識の向上と交流の為研修会を行っています。



丹波地域 6月4日（木）

### 「樹木の病害虫と農薬による防除法」

（一社）日本樹木医会兵庫県支部 宮田 和男 氏  
公園内の病害虫に蝕まれた葉を採取された講師から、原因と効果がある農薬の説明を受けました。



阪神南・北地域 6月11日（木）

### 「園芸活動で注意すべき有毒植物について」

甲子園短期大学教授 土橋 豊 氏  
毒と薬の曖昧さから、まさかと思うような間違いによる健康被害を起こした事例の紹介。



西播磨地域 6月18日（金）

### 「バラ栽培のポイント（肥培管理から剪定まで全般）」

（有）确实園本園 前野 義博 氏  
地植えバラの水やりは「あげないこと（?）」ツルバラの伸ばすコツなど、質問もはずみました。



神戸地域 6月29日（月）

### 「丈夫で見ごたえのある低木と宿根草の見せ方、育て方」

㈱エクステリア風雅舎 加地 一雅 氏  
実物の低木・宿根草を用いて、スライドによる事例紹介。草木の特徴から、見せ方・組み合わせ方を学習しました。



淡路地域 7月2日（木）

### 「花緑の推進と今後の緑化のあり方」

園芸コンサルタント 三浦 行篤 氏  
スキルに限らず、花緑ボランティア活動をマンネリ化させず継続している団体の工夫・関係機関との連携等紹介。



阪神北・南地域 7月10日(金)

### 「花緑活動の事例紹介と意見交換会」

ひょうごガーデンマイスター 岡井 久夫 氏

阪神地域での花緑活動の課題を共通認識し見方を変え行動されている団体との意見交換ができました。



中播磨地域 7月16日(木)

### 「バラ栽培のポイント(肥培管理から剪定まで全般)」

(有) 确实園本園 前野 義博 氏

花が終わった後の手入れ、新芽の摘み方等年間を通じての管理を質疑応答で講義いただきました。



北播磨地域 7月22日(水)

### 「花緑活動の事例紹介と意見交換会」

ひょうごガーデンマイスター 片山 睦子 氏

四季折々の花との触合いを大事に工夫した園庭作りの話から、出席者それぞれの団体の工夫話を共有しました。



東播磨地域 7月28日(火)

### 「園芸活動で注意すべき有毒植物について」

甲子園短期大学教授 土橋 豊 氏

間違えると大変な健康被害を招く誤食。「似ている」「昔は、食べていた？」誤認識を改めて周知する機会が必要。



## 花緑いっぱい運動推進員募集

花と緑あふれる美しい県土づくりを推進するため、花と緑のまちづくりに一定の技術や知識をお持ちで、地域における花緑活動のボランティアリーダーとして実践活動や人材育成に取り組んでいただける方を募集しています。平成27年8月31日現在、202名の方が花緑いっぱい運動推進員として活動されています。

#### ■対象者

- 兵庫県内に居住し、次の花と緑に関する資格を有している方
  - \* 兵庫県立淡路景観園芸学校まちづくりガーデナー本科コース修了生
  - \* グリーンアドバイザー ・ 演芸装飾技能士 ・ 造園技能士
  - \* 市町等が行っている花と緑を活用したまちづくり活動等の講座を半年以上受講し認定を受けた方などで、地域において指導する意欲があり、指導活動のできる方
  - \* 地域の花緑団体に所属し、リーダーとしておおむね5年程度活動している方

#### ■活動内容

- \* 緑化活動に取り組もうとするグループの育成
- \* 緑化活動への技術的なアドバイス(設計、整備、維持管理等)
- \* 緑化活動グループの交流促進 など

応募は、各地域  
県民局及び県民センターへ  
\* 連絡先は、5ページ



# 花と緑の専門家バンク 専門家と一緒に、 花緑の悩みを解決しませんか？

## 事業概要



「花と緑の専門家バンク」は、花と緑のまちづくりに取り組む花緑グループの活動を支援するため、都市緑化や景観園芸分野の専門家、造園や花と緑に関する専門的な知識・技術を有する専門家を紹介する制度です。

事業の概要は以下のとおりです。詳しくはお住まいの地域の県民局・県民センター駐在緑のパトロール隊員にお尋ねください。

花と緑のまちづくり活動をより専門的に深めたい方々の積極的なご利用をお待ちしています。



### 1 対象内容

- ・ 緑化施設の維持管理及び植え替え等の診断及び技術指導
- ・ 花と緑のまちづくりに関すること
- ・ 緑化施設整備計画の策定や設計に関する助言
- ・ 花と緑のまちづくりに関わるテーマの講演会・シンポジウム等の講師

### 2 対象団体

- ・ 県民まちなみ緑化事業を実施または計画している団体
- ・ 花と緑のまちづくりを実施または計画している団体

### 3 費用

- ・ 講師の費用は、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

### 4 相談・申込

- ・ 所定の申請用紙（ホームページ参照）に必要事項を記入の上、実施予定時期1ヶ月前までにお住まいの（右記表参照）地域の県土木事務所等駐在緑のパトロール隊員に提出してください。

## 校庭や広場の芝生化

学校や公園などの芝生の施工  
・維持管理までを、芝生の専門家より講習・指導。

## 樹木の管理

古木や病気の樹木の維持管理  
・剪定の講習・指導



## 屋上緑化

屋上緑化の専門家によるデザインから建築強度や季節ごとの維持管理の講習・指導



## 花壇のデザイン

草花の専門家による、地域の季節に合った植栽デザインや維持管理方法の講習・指導

お問い合わせは、[こちら](#) 



実施個所ごとの問い合わせ先にご連絡ください。

実施箇所	問い合わせ先	郵便番号	住所地	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3564
尼崎市、西宮市、芦屋市、 伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797(83)3191
明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97-1	079(421)9402
西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795(42)6176
姫路市、相生市、たつの市、 赤穂市、宍粟市、神河町、 市川町、福崎町、太子町、 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第1課	670-0947	姫路市北条1-98	079(281)9313
豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796(26)3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3390	丹波市柏原町柏原688	0795(73)3863
洲本市、南あわじ市、淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799(26)3213

花と緑の専門家バンク事務局 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会  
花と緑のまちづくりセンター  
TEL 078-918-2405

ホームページ [ひょうごはなまち 専門家バンク](#) : 検索

## グリーンメッセージ

# Buongiorno ! イタリア

40年ぶりにイタリアを旅しました。イタリアと聞けば、私的には、頭の中でカンツォーネが響き、明るい青空の下、歴史遺産の重厚な街並みにある広場で美味しいパスタ料理と生ハムを食ベワインを飲んでいる光景を連想し、いつか元気なうちに、もう一度行きたいと密かに考えていました。今回のきっかけは、平成27年7月16日から4日間行われたミラノ国際博覧会日本館“兵庫県プロモーション”のメインイベントとして、世界最高級（プレミアム）のひょうごブランド商品や観光資源等の価値を理解し、それを求める購買行動等を喚起できるイタリアをはじめ欧州のハイクラスゲストを招き、ひょうご五国「農」「食」「観光」の魅力を発信するプレミアムプロモーション会場に参加することでした。



プロモーション会場の開会式

会場では、井戸知事はじめ石川県議会議長など兵庫県行政の要人や神戸牛、日本酒、スイーツなど「ひょうごブランド商品」を生み出す県内有力企業のトップ経営者が出席し、招待客に「ひょうご」まるごとを売り込むトップセールを行っており大変賑わっていました。

ミラノ国際博覧会は、ミラノで109年ぶりに行われる国際博覧会で、110ヘクタールの会場で平成27年5月1日から10月31日まで184日間開催されます。



日本館前に飾られた都道府県別のこも樽

開催テーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを」で、世界140カ国以上の国々からテーマに沿った展示やイベントが行われています。日本館は、「共存する多様性」をテーマとし、自然と共生し、多様な生物との共生が生み出す、持続可能な食の未来の展示をメインメッセージとして多彩な内容の展示を行ってお

兵庫県参与(花と緑のまちづくり推進担当)

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長  
石原 憲一郎

り、各国出展の中でも最も人気のあるパビリオンの一つで、入場するのに平均1時間以上の待ち時間です。

各国が大胆にデザインしたパビリオンも、組織委員会から建設資材についてパビリオン全体の80%以上自然素材を使用することと定められていたこともあり、木製や竹製が多く使われていたのも特徴的です。



アメリカ館では、壁面に大型野菜プランター

また、パビリオンと同程度の規模のオープンスペース確保が義務付けられており、そこには、博覧会のテーマらしく、野菜畑や水田、ハーブ園などが緑陰の木々と一緒に配置されており、一瞬、園芸博覧会の会場と間違えるぐらいでした。

食の問題だけでなく、環境や各国文化など地球的規模で広範囲に学べる博覧会です。



フランス館前にも、畑のように野菜が



東南アジアのお米のパビリオン前では、稲が生育中

博覧会の見学の後は、もちろん、ミラノ、ジェノバ、フィレンツェ、ローマ、ナポリなどの都市を回り「感動」に浸ったのは言うまでもありませんが・・・。

会期末まで僅かしかありませんが、皆さんも思い切ってイタリアをエンジョイしませんか？

ほっと

## ●●● 相談員ニュース ●●●

## 「来年はもっと豪華に咲かせたいアオイ科のタイタンビカス」

緑の相談員 尾崎 ルミ子

アオイ科の植物は目が覚めるような鮮やかな花を咲かせます。日常管理は難しくないの  
で、多くの園芸品種が栽培されていますが、  
その中でも近年、公園の花壇や家庭の庭先で  
も見かけられるタイタンビカスについて紹介  
します。

## ハイブリッドのタイタンビカス

アメリカフヨウとモミジアオイの交配選抜  
種の宿根草で、花は咲いたその日に萎んでし  
まう一日花です。開花時期は6月下旬から9  
月下旬までで、花の色は白から濃い赤まで数  
品種あります。名前につく“タイタン”は巨  
神タイタンにちなんでいます。約2mにも高  
く伸びる茎の先端に、15~25cmほどになる  
大輪の花を次から次へと咲かせる豪華さと、  
冬には枯れてなくなりますが、翌春には地中  
から力強い芽が伸びてくる生育旺盛で強健な  
さま、花姿がハイビスカスのようであること  
からタイタンビ  
カスと名付けら  
れました。また、  
葉の形は掌状に  
深く切れ込んで  
います。



切り込みの入った葉



手のひらいっぱい広がる花

## 植え付け

春に苗を購入し植  
え付けますが、鉢な  
どで栽培する場合は、  
すぐに根詰まりをお  
こすので、最初から  
8号以上の鉢に植え  
付けます。生長が早  
いので支柱は1m以  
上のものを準備しま  
す。

## 冬の管理

完全に葉が落ちた  
ら、地上部の幹を  
20~30cm残して切  
り取ります。露地植えの場合は土寄せをし、  
鉢植えの場合は新しい土を足します。

## 肥料

植え付け時に元肥として、緩効性肥料を用  
土に混ぜ込みます。生育中は週1回程度液体  
肥料を施し、花が終わる頃お礼肥を与えてお  
きます。

## 病害虫

アブラムシ・ハマキムシ・コナジラミが付  
きやすいので、その予防として植え付け時か  
ら根元にオルトラン粒剤等をまいておきます。



鉢植えでは、2mを越す大きさにもなる

## \*\*園芸相談コーナー\*\*

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、  
お話ししやすくなります。

# 平成27年度 園芸教室 (10月～1月)

★★お申込・お問合せ★★

花と緑のまちづくりセンター TEL 078-918-2405

\*申し込み開始日、午前9時より先着順で受付

実施日	課題名・内容	講師名	開催時間	参加費	申込開始日
10月 2日 (金)	植物と暮らす～お庭で緑を楽しむ3つのポイント～	樹木医エクステリアプランナー 三木 健史	13:30～	100円	9/15～
3日 (土)	(ガーデンショー体験教室) フラワーアレンジ「ハロウィン」	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	10:00～	700円	9/7～
	(ガーデンショー体験教室) どんぐりで森の仲間をつくろう	花と緑のまちづくりセンター 山本 建也	13:30～	600円	
4日 (日)	明石公園の自然観察⑦ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会 兼光たか子	10:00～	100円	9/15～
18日 (日)	★明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ<秋>	自然観察指導員 高野 哲司	13:30～	100円	10/1～
25日 (日)	葉になる木・草を学ぶ <秋> (葉草のおみやげ付き)	明石市薬剤師会 高橋 宏和	13:30～	500円	
11月 1日 (日)	明石公園の自然観察⑧ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会 兼光たか子	10:00～	100円	10/15～
6日 (金)	鉢物園芸①	緑の相談所長 若松 康史	13:30～	100円	
13日 (金)	ハーブのある暮らし③	ジャパンハーブソサエティー 上級ハーブインストラクター 陳 美恵	13:30～	1,600円	11/1～
20日 (金)	庭木の手入れ③ ～マツの整枝・剪定～ (午前・午後)	(一社) 兵庫県造園建設業協会	10:00～ 13:30～	100円	
27日 (金)	プリザーブドフラワーで作るクリスマス飾り	フラワーコーディネーター 平尾ひろ子	13:30～	3,100円	
12月 6日 (日)	明石公園の自然観察⑨ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会 兼光たか子	10:00～	100円	11/15～
18日 (金)	新しい年を迎える寄せ植え	ガーデニング教室学習指導員 永田 鈴子	13:30～	3,100円	12/1～
20日 (日)	親子で楽しむミニ門松作り	園芸研究家 松井 鴻	10:00～	500円	
	親子でしめ縄を作ろう		13:30～	300円	
1月 10日 (日)	明石公園の自然観察⑩ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会 兼光たか子	10:00～	100円	12/15～
17日 (日)	原木きのご栽培にチャレンジ① ～しいたけ～	原木しいたけ生産者仲きのご園 仲 秀雄	13:30～	700円	1/6～
23日 (土)	ポタニカルアートに挑戦 ～色鉛筆で植物を描く～	植物画家 山田 紀子	13:30～	1,300円	

場所：明石公園内 花と緑のまちづくりセンター ★印はサービスセンター西館

## ひょうごローズクラブ

# 平成27年度秋のイベント案内

申込先

花と緑のまちづくりセンター

### 視察研修旅行

四季の郷公園 (和歌山市)  
& 浜寺公園 (堺市)

開催日：10月28日(水)

集合場所：JR舞子駅南またはJR神戸駅南

定員：60名

参加費：5,000円 (会員は4,000円)

受付開始：10月5日(月)～

### 講習会「自宅でできるローズセラピー

～アンチエイジングに効果あり～

日時：11月6日(金) 13:30～15:00

会場：神戸市立須磨離宮公園 レストハウス

講師：星川 雅子氏 (ひょうごローズクラブ理事)

定員：15名

内容：①バラのエッセンス作り

②バラのエッセンスをもとにした活用レシピの紹介

参加費：2,000円 (会員は1,500円)

受付開始：10月5日(月)～

## 花と緑のまちづくりセンターだより 34号

●平成27年9月30日(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com